
愛の形は十人十色

愛染め

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛の形は十人十色

【Nコード】

N2349P

【作者名】

愛染め

【あらすじ】

二人の愛は、終わりを恐れない。終わりなんてないのだから。

(前書き)

編集版です。

「らっらっら　　らっらっらっ？らっらっらっ？らっらっ？」

暗い森の中で、少女の歌が響く。

「とても嬉しそうだね、どうしたんだい？」

「あなたこそ、お顔がニコニコしているわ。どうしたの？」

「さあ？」

「私も、さあ？」

二人の笑い声が枯れ木を縫うように森に響く。神様も可笑しくなったのか、森に笑ったような風が吹く。

風に起こされ、地面に待機していた枯葉たちが踊り出す。空中を彩る大舞踏会かのように。

少年は、枯葉につられて少し踊りたくなる。

「Shall we dance? My princess」

「森の中で？まるで夢の国の王子様みたいなことを言うのね？」

「そうさ、僕は夢の国の王子様だ。そして君は麗しいお姫さま」

「では踊るのが宿命ね。けど音楽がなければ踊れないわ」

「君の歌があれば、足が勝手にステップを踏みはじめるさ」

「あらありがとう、王子様」

褒められた少女はお姫さまになり歌い出す。どこかで聞いたことのある歌を、爽快な歌を。

青年は王子様になり、お姫さまの踊りをリードする。

そのうち歌に伴奏が入り込み始める。それにあわせて踊る踊るおどる。汚い服を着て、穴のあいたスニーカーを履いて。

ターラッラー？ターラッラー？

お互いの足を踏んでも、枯葉に足を滑らせても、生きてることを忘れて踊る。ボロっちな服もドレスに変わってしまいそう。

二人は夢心地。

しかし、そんな夢のような時を過ごしている二人にさえも、現実はいじわるをする。

常人よりも疲れることが早くなる病に侵されている少女は、おもいきり踊ると糸が切れた人形のように少年に倒れこむ。

「ごめんね、無理をさせちゃったかな？」

息を切らす少女、体にはびっしり汗をかいている。

「いいえ、大丈夫。このボンコツな体が悪いのよ。もう、早く捨ててしまいたいわ」

彼女の言う言葉に、つい本音が口走る。

「ポンコツなんかじゃないよ、とてもキレイな体だ。捨てるのがもつたいないぐらいに」

「けど、普通の人よりも不便で、壊れやすい。……………もう……………いや」

昔を思い出したのか、少女の顔は夜の闇に溶けてしまった。
少年は自分の発言に後悔の念を抱く。

「……………ごめん。嫌なことを言って」

「いいわよ、もうこんな悩み事なんて消えてしまうんだから。ほら行きましょ？なんのためにこんな暗くて怖い所に来たのかわからなくなる前に」

「大丈夫さ。君が忘れてしまったら、僕が思い出させてあげる」

「どうやって思い出させるの？」

「さあ？キスでもしたら思い出すかな？」

「あはは。ホントに夢の国の王子様みたいね」

太陽のような笑顔を、暗闇でもハッキリと目に映しながら二人は森の奥へ、奥へと、オレンジのカーペットの上を歩いて行く。

魔法の眠り薬をポケットの中で握りながら。現実にも何にも邪魔されないために。二人の愛を純粋なものにするために。

二人で歩く。迷わずに、最後の道を、何十もの選択肢から見つけた二人の道を、歩く。

道の途切れた先にはきつと

「愛してる」

（後書き）

お読みいただき、ありがとうございます。愛染めです。

なぜか今回の作品もタイトルに「愛」がついてしまいました。私自身、無意識の内の出来事なので少々驚いております。

今回の作品は、人の数だけ愛があると考え、その中の代表的なものを書いたつもりです。まだまだペーペーですので、読んでいて表現に色がない気がしたらすいません。

感想や評価をしていただくと、私、単純ですものすごい喜びます。

この短編を読んで喜んでいただければ、作者としてこれ以上の喜びはありません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2349p/>

愛の形は十人十色

2010年12月13日20時54分発行